



4128



414
A 1339



東京ハ元幕府ノ根居武家ノ聚

處タルヲ以テ庶民爰ニ集リ活計

ヲ取リ人口百餘万ノ夥シキニ至リ

是ヲ京阪二府ニ比スレハ過額數十

万ノ多キニ及フ

御東幸以來無彊ノ恩沢ヲ被ル

ト雖モ時勢ノ變遷素ヨリ昔

時ノ如クナラスシテ悉ク失産窮乏

天正十一年四月

東京府

ニ居ラサルトモ是ヲ概スレハ漸次缺
乏ヲ免ル、能ハサルノ者ニ候就テハ
豫メ是ヲ救フノ施行措ク可カラサル
一所ニ候ヘトモ兵馬空惚ノ餘未タ是
ヲ救フノ術ヲ施スニ暇アラス尤當今
ニ在テハ教育所授産小金^ツ并ニ府
下ノ開墾旧里復籍等^ヲ以テ聊カ
窮乏中ノ人員ヲ省クノ所置^ヲ設

ルト雖モ^モ省ク處ノ數所謂九牛
一毛ニシテ其餘ハ則漸ク窮乏ニ
陷ルヘキノ民也加之舊幕臣歸順
ノ輩方今ノ御政體ニ依リ減祿
被^レ仰出候テ養フ能ハサル所ノ倍
隸一万餘人夫ニ年限ノ御扶助
被^レ下置右ヲ以テ産業ニ基^ツクヘシト
雖モ固有ノ人民スラ既ニ前文ノ如ク

漸窮乏ニ迫ル况ヤ今ヨリ新ニ産
業ニ基カントスル者何ヲ以テ其所ヲ
得ルニ至ラン依テ前段ノ如ク是ヲ
救フノ術ヲ設クト雖モ争テカ此ヲ
以右多貧ノ民ヲシテ各其所ヲ得セ
シムルノ術ニ充テン右過額ニ居ルノ
限リハ失産無告ノ窮ニ迫ルハ只其
遲速ヤ^ハ遂ニ免レサル所ナルニ

是ヲ救^ハタムヲ捨ルノ義アラサレハ官
府モ亦右過額ニアルノ人口救助ノ勞
費ハ遂ニ免ル、能ハサル所ニ候依之
寫ト是ヲ救フノ術ヲ考量スルニ右
過額ノ人口ヲシテ関ハ州其他荒
蕪ノ地ヲ開拓セシムルニ可有之ト奉
存候但一利ヲ興セハ一害ヲ生スルハ
百事ノ常ニシテ取分ケ土地開拓

等ニ於テハ尤甚シク故ニ事既ニ行
フノ日ニ至テ豫メ計畫スル所ト違
背スルモノ多シト雖モ只此舉ニ於
テハ素ヨリ興利ニ業スルニアラス素
餐ノ救民ヲ以テ荒蕪ノ遺利ヲ興スニ
アレハ成功ノ厚菲ハ只其任官施為
ニ得失ニ因ルノモ必害ヲ生スルニアラス
仍テ當府ニ於テハ右開墾ヲ以至要

ノ事件ト大併右開墾ノ儀ハ他ノ管
轄地ヘモ關係ノ事ナレハ無謂ノ故障
等モ可有之且ハ當府ニテ專ラ施
行致シ候ハ體裁ニ於テモ如何ニ候
ハハ民部省中ニ更ニ開墾ノ局ヲ
置カレ規模皇張有之候ハ當
府ニテ右過額ノ人民ヲ率ヒ從事
致シ漸々授産致シ度奉存候若

東京府
此一舉因循遷延既ニ飢民ノ多
キニ及ヒ是ヲ集メテ手ヲ下タスト
雖モ素ヨリ無耻嬾惰ノ飢民十
レハ假令驅逐鞭撻ストモ命令規
律モ或ハ立ツ可カラス實ニ即今失
フ可ラサルノ機會ニ候間断然御
施行有之度奉存候謹言

庚午七月

東京府

